

Fellowes

WORK BETTER™

フェローズシュレッダ

425Ci-2/485Ci-2 取扱説明書・保証書



コクヨ株式会社

〒537-8686

大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

TEL 0120-220-594

<https://kokuyo.co.jp>

目次

はじめに	1	日常のお手入れ	13
安全上のご注意	1	細断くずを捨てる	13
付属品の確認	5	カッタのお手入れ	14
各部の名称	6	本体外側のお手入れ	15
設置	8	こんなときは	16
設置場所に関する注意	8	本製品が停止したときは(オーバーヒートプロテクション機能)	16
本体の設置と準備	8	紙詰まりを起こしたときは	16
使いかた	8	紙が押し戻されたときは	17
細断できる物	8	警告ランプが点灯しているときは	17
紙の細断	9	故障かな?と思ったら	18
CDやクレジットカードの細断	10	製品仕様	18
安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™)	11	フェローズシュレツダ保証書	19
ジャム・ブルーフ システム(紙詰まり防止機能)	12		

はじめに

このたびはフェローズシュレツダ425Ci-2/485Ci-2(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は安心してお手軽にお使いいただけるシュレツダです。
使用の前に必ず本書をよくお読みいただき、安全にお取り扱いください。また、本書はすぐ取り出せる場所に保管してください。

安全上のご注意

本製品の設置場所や電源に関するご注意など、使用前に知っておいていただきたい注意事項を記述しています。本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

絵表示

本製品を正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

<絵表示の例>



気を付ける必要があることを表しています。



してはいけないことを表しています。



しななければならないことを表しています。

警告



取扱説明書参照

- ご使用になる前に必ず本書をよく読みいただき、安全にお取り扱いください。



カッタに触れるな

- カッタ部には絶対に手を触れないでください。
けがをする恐れがあります。



巻き込まれ注意

- 投入口、排出口、機械内部には絶対に手や棒などを入れないでください。
巻き込まれてけがをする恐れがあります。



子供使用禁止

- 乳幼児や小さなお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。
思わぬ事故の恐れがあります。
- 絶対にお子様に触れさせたり、使わせたりしないでください。
やけど、感電、けがの恐れがあります。



手を入れるな

- 細断中は紙から手を離してください。絶対に指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。特に、小さな紙を細断するときは注意してください。
紙を持ったままだと、手も投入口に引き込まれ、けがをする恐れがあります。



衣類巻き込み注意

- ネクタイ、ネックレス、カードホルダー、服の袖や裾、ブレスレット、腕時計のベルトやチェーンなどを投入口やその近くにたaraさないでください。
投入口に引き込まれてけがの原因となることがあります。



髪の毛巻き込み注意

- 髪の毛を投入口やその近くにたaraさないでください。
投入口に引き込まれてけがの原因となることがあります。



可燃スプレー厳禁

- 可燃性のエアゾールスプレー(潤滑剤やエアダスター)などを吹きかけないでください。
スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発を起こす恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 作業が終わったら電源を切ってください。また、使用しないときはコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因となることがあります。
- 万一、発熱したり、煙が出たり、異臭がするなど異常な状態になったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
- 万一、水などの液体や金属片などの異物が本体内部に入ったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。



禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- タコ足配線をしないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、無理に曲げたり、引っばったりしないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- 電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。
火災や感電の原因となります。
- ボタン電池などの電池類は、絶対に投入しないでください。
電池が破裂して火災が発生する恐れがあります。
- 本製品が故障したり、一部が破損したまま使用しないでください。
けがや感電の恐れがあります。



分解禁止

- お客様ご自身による分解、改造、修理は絶対に行わないでください。
火災、感電、けがの恐れがあります。



濡れ手禁止

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



注意



注意

- 本製品は紙専用のシュレッタです(付加機能として、CDやクレジットカードの細断も可能)。他の用途には使用しないでください。ホッチキスは11号針まで、ゼムクリップは28mmまで細断可能です。それ以上大きいものは、必ず取り除いてから細断してください。
故障の原因になります。
- 本製品は日本国内専用として製造、販売しています。日本国外で使用した場合のいかなる結果についても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ゴミはこまめに捨ててください。
ゴミが一杯になると、カッタにゴミがからまって故障する恐れがあります。
- 紙詰まりしたときはすぐに電源を切ってください。



安定した場所に設置

- 水平で安定した場所に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置すると、落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。
- 本製品は重心の位置が高いため、転倒に注意してください。万一、操作中に転倒した場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてから起こしてください。



アース線接地

- 必ずアース線を接地(アース)してください。
- アース線は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。
- アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

- 以下の物を投入しないでください。
 - ・粘着シール、宅配便の送り状、各種テープ類など糊の付いた紙
 - ・各種フィルム、ビニール、ポリ袋、OHPシート
 - ・カーボン紙、インクリボン、新聞紙
 - ・布類
 - ・和紙など繊維の粗い紙故障や詰まりの原因になります。
- 濡れた紙や湿った紙を投入しないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- 細断してはいけない書類を投入口の近くに置かないでください。
誤って投入口に入り、細断される恐れがあります。
- 直射日光のあたる場所に設置しないでください。
電子部品の誤動作や故障の原因となることがあります。
- 熱器具に近い場所に設置しないでください。
本体のキャビネットや電源コードが変形して、誤動作や火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- 本製品はコンセントの近くに設置してください。また、いつでも簡単に電源プラグが抜き差しできるように、コンセントの近くに物を置かないでください。
- 電源コードは折ったり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。
束ねたまま使用すると、過熱の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持って引っぱらないでください。
コードが破損して、火災や感電の恐れがあります。



水をかけない

- 本製品に水などの液体をかけないでください。
火災、感電の恐れがあります。



物を置かない

- 本製品の上に花瓶や植木鉢、コップ、水の入った容器などを置かないでください。
転倒して本製品内部に水が入ると、火災、感電の恐れがあります。
- 本製品の上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。
けがの原因となることがあります。



設置環境に注意

- 冷暖房機の近くや高温多湿になる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

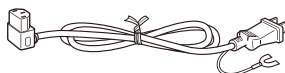
- 細断くずを捨てるときやお手入れをするとき、長期間使用しないとき、本製品を移動するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、感電の恐れがあります。

付属品の確認

●本体(キャビネット、専用ダストボックス)



●電源コード



製品に同梱している電源コードは、同梱されている製品のみ使用できます。
同梱している製品以外には、この電源コードを使用することはできません。

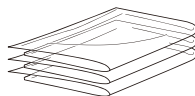
●シュレツダ専用オイル(試供品)



●取扱説明書(本書)



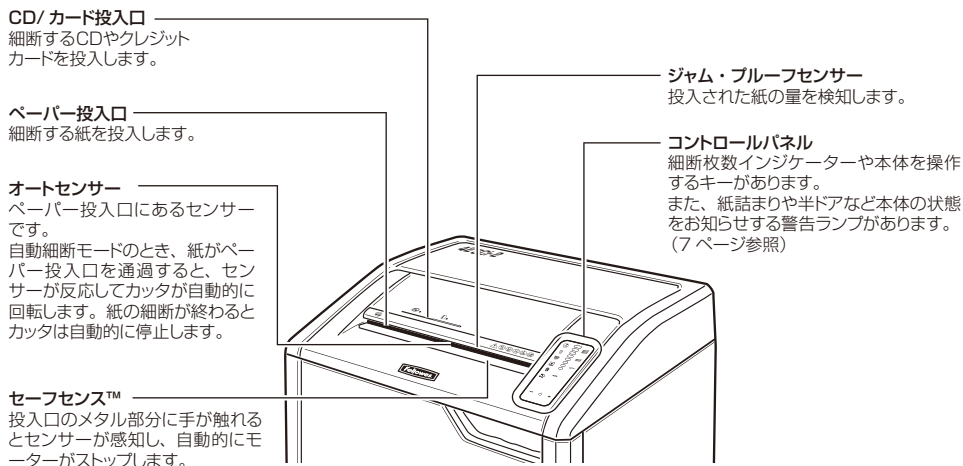
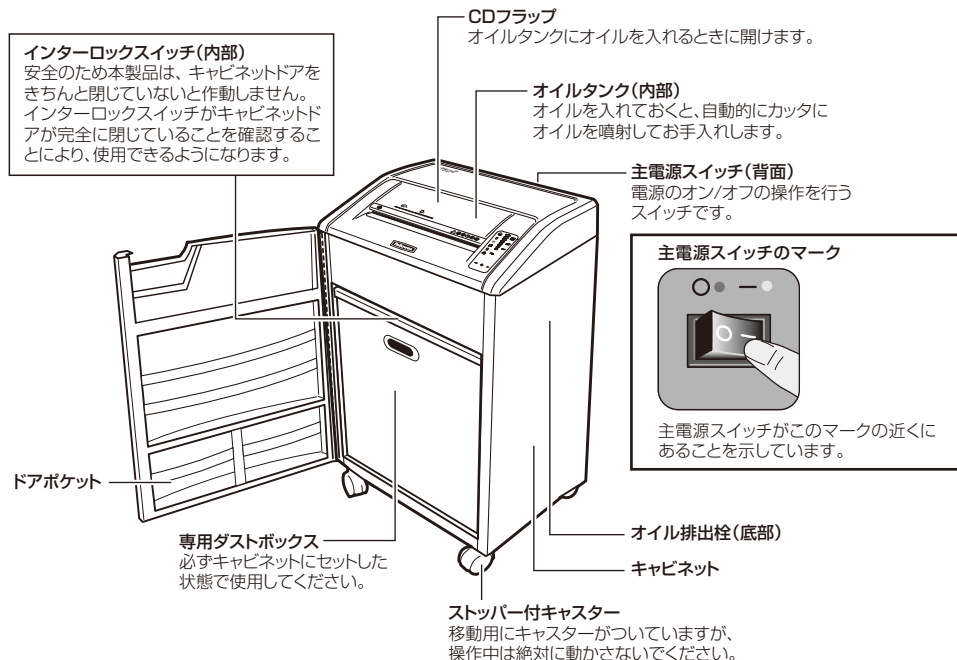
●ゴミ袋



✕ 出荷前のテストで使用した用紙やCDのかけらが、排紙口や専用ダストボックス内に残っていることがありますので、あらかじめご了承ください。

各部の名称

■ シュレツダ本体



■ コントロールパネル

警告ランプ

オイル切れランプ（赤）

オイルの残量が少なくなったりなくなったときに点灯します。

ゴミいっぱい警告ランプ（赤）

専用ダストボックスが細断くすでいっぱいになったとき、緑の点灯が赤の点灯に変わります。

セーフセンス・ランプ（黄）

セーフセンスのセンサー作動状況をお知らせするランプです。（11 ページ参照）

紙詰まり警告ランプ（赤）

細断中の紙が詰まったときや、投入口に紙が残っているときに点灯します。

半ドア警告ランプ（赤）

キャビネットドアが正しく閉じられていないときに点灯します。

斜め投入警告ランプ（赤）

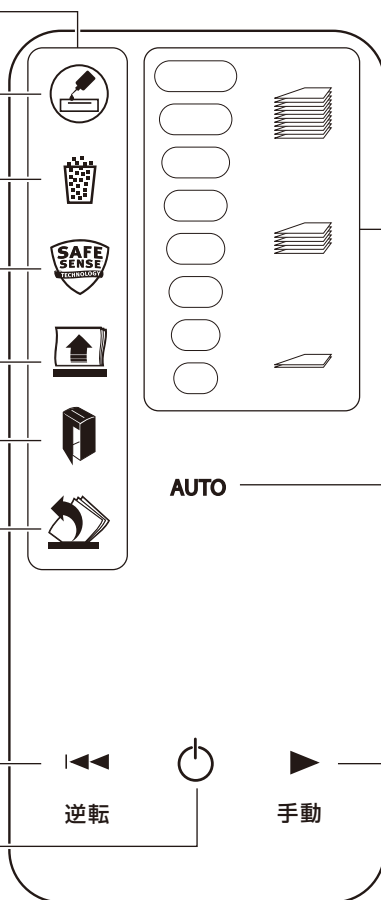
紙がまっすぐ入れられなかったときに点灯します。

リバースキー（逆回転）

手動でカッタを逆回転させます。（16 ページ参照）

スタンバイ（青）

自動細断モードのオン/オフを切り替えます。
ランプが青く点灯しているときは細断ができます。



細断枚数インジケータ

ペーパー投入口に入れられた紙の量を、インジケータ表示で分かりやすくお伝えします。（12 ページ参照）

AUTO

オートランプ/キー（青）

ジャム・ブルーフ システム（紙詰まり防止機能）がオンのときに点灯します。

フォワードキー（手動正転）

手動でカッタを正転させます。（16 ページ参照）

設置

本体を設置し、使うための準備をします。

設置場所に関する注意

次の注意を守って設置してください。

- 電源プラグの抜き差しが簡単にできるよう、電源コンセントの近くに設置してください。
- 水平な場所に設置してください。
- 換気の良い場所に設置してください。
- 壁や家具などからは10cm以上離して設置してください。
- 小さなお子様やペットが触れて誤って作動しないよう、手の届かない場所に設置してください。また、使用後に主電源スイッチをOFFにしてコンセントから電源プラグを抜いてください。

本体の設置と準備

- 1 パッケージから本体を取り出して、水平な場所に置きます。
- 2 背面の主電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本体(背面)に接続します。電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。

使いかた

細断できる物

- 紙(最大細断枚数はA4コピー用紙64g/m²で32枚。紙を折りたたむと厚みが増し、一度に細断できない場合があります。)
- CD、DVD
- プラスチック製カード(クレジットカード、キャッシュカードなど)、紙製カード

【注意】 素材によっては、完全にバラバラにできないことがあります。(データは破壊され修復できません。)

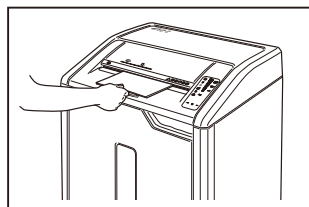
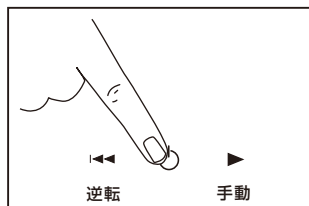
■ 細断できない物

- ・プリペイドカードなどの薄型カードや定期券、運転免許証、ラミネート加工されたカード
- ・FD、MD、MO、ZIP、その他各種メモリーカード
- ・粘着シール、宅配便の送り状、各種テープ類など糊の付いた紙
- ・各種フィルム、ビニール、ポリ袋、OHPシート
- ・カーボン紙、インクリボン、新聞紙
- ・布類
- ・和紙など繊維の粗い紙

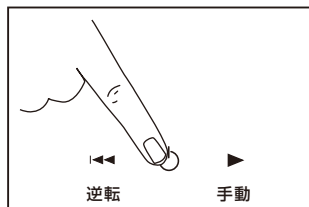
紙の細断

- 1 主電源スイッチをONにします。
- 2 スタンバイキーを押します。
- 3 ランプ(青)が点灯して、自動細断モードになります。
- 4 ペーパー投入口に細断する紙をまっすぐに入れ、すぐに手を離します。

【警告】 紙を投入したらすぐに手を離してください。ずっと紙をつかんでいると、投入口に手が引き込まれ、けがをすることがあります。小さい紙を投入するときは特に注意し、絶対に指で押し込んだりしないでください。



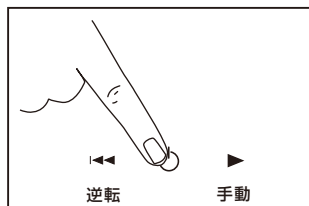
- 5 細断が終了すると、自動的にカットが停止します。
スタンバイキーを押して自動細断モードをオフにします。
ランプ(青)が消灯します。



- 6 主電源スイッチをOFFにし、電源を切ります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 省エネモード

電源ONのまま2分以上使用しないしていると、省エネモードになります。
再び細断するときはスタンバイキーを押してください。



CDやクレジットカードの細断

1 主電源スイッチをONにして、スタンバイキーを押します。

「紙の細断」の手順1～3を参照してください。

2 CD／カード投入口に、CDやカードを1枚ずつ入れます。

【警告】 CDやカードを細断するときには、必ずCDフラップを閉じてください。CDフラップを開けたまま細断すると、破片が飛んでけがをする恐れがあります。

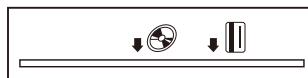
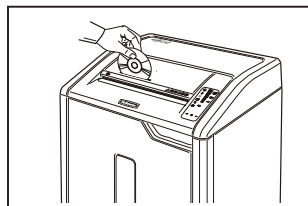
【警告】 CD、DVDを細断するときには上部をつまんで投入してください。

ディスクの中央の穴に指を入れて投入すると、ディスクが引き込まれるときにけがをする恐れがあります。

【注意】 表面がハードコート加工されたCD／DVDは細断時に強く押し込む必要がある場合があります。

【注意】 カードは、CD投入口のカードのマークに合わせて入れてください。左端から入れるとオートセンサーが反応しない場合があります。

【注意】 CDやカードの細断と紙の細断を同時に行うことはできません。

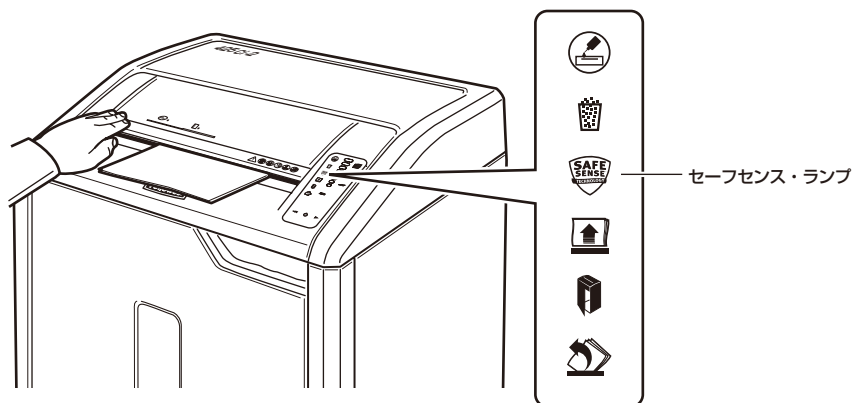


3 細断が終了すると、自動的にカッターが停止します。スタンバイキーを押して、主電源スイッチをOFFにします。

「紙の細断」の手順5～6を参照してください。

安全にお使いいただくための機能(セーフセンス™)

ペーパー投入口のメタル部分に手が触れると、人体から出る微弱な電流をセンサーが感知して、自動でカットを停止します。このとき、セーフセンス・ランプが点灯します。



次のような場合はセーフセンス機能が働きませんので、ご注意ください。(手が触れても止まりません。)

- 手袋などを着用している
- 毛髪や体毛が金属部分に触れている
- 肌が極端に乾燥している
- 厚いゴム底の靴など、電気を通さない靴を履いている
- シュレツダの上に乗っているなど、身体のどの部分も床に接していない

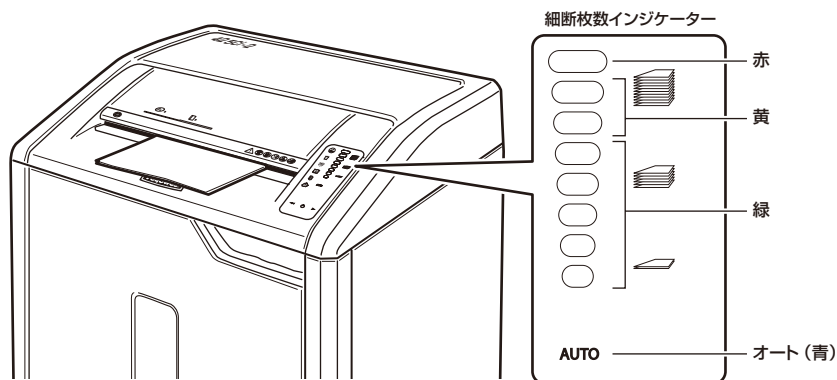
【注意】 湿った紙は投入しないでください。感電の恐れがあります。また、セーフセンスが反応してカットが止まる場合があります。

【注意】 セーフセンスのセンサー(ペーパー投入口のメタル部分)に5秒以上触れると、オフモードになります。再び使用するときはスタンバイキーを押してください。

ジャム・プルフ システム(紙詰まり防止機能)

シュレッドの紙詰まりを防止する機能です。ペーパー投入口に入れられた紙の量を、細断枚数インジケータでお知らせします。ジャム・プルフ システムが作動しているときは、オートランプが青く点灯します。

緑または黄色いランプが点灯しているときは、正常に紙を細断することができます。
規定の枚数以上の紙が投入された場合は、赤いランプが点灯し、カッタが回転しません。



✕ 規定の枚数以内であっても、紙が折れ曲がるなどして投入する紙の厚みが増した場合、いったん細断作業を停止することがあります。3～6秒後、センサーが細断可能と判断したら再び細断作業を開始します。

ジャム・プルフシステムのオンとオフ

オートキーを押しながら、リバースキー(逆回転)を押すと、オートランプ(青)が消えジャム・プルフ システムがオフになります。

ジャム・プルフ システムを再びオンにするときは、同様にオートキーを押しながらリバースキーを押して、オートランプ(青)の点灯を確認してください。ジャム・プルフ システムをオフにして使用中に紙詰まりが起きた場合は16ページを参照してください。

日常のお手入れ

細断くずを捨てる

ダストボックスが細断くずでいっぱいになったら、次の手順で細断くずを捨ててください。

- 1 背面の主電源スイッチをOFFにします。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 キャビネットドアを開けて専用ダストボックスを取り出し、細断くずを処分します。

！注意 細断くずは、各自治体の定める規定に従って廃棄してください。

- 4 専用ダストボックスを元どおり本体にセットして、キャビネットドアを閉めます。

！注意 キャビネットドアが正しく閉じられていないと、電源をONにしても半ドア警告ランプが点灯して本製品は動作しません。

！注意 安全のため本製品は、キャビネットドアをきちんと閉じていないと作動しません。インターロックスイッチがキャビネットドアが完全に閉じていることを確認することにより、使用できるようにします。

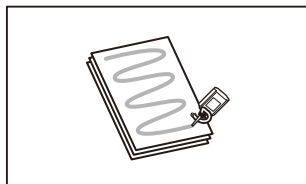
- ✕ 細断くずがたまったらそのまま使用を続けると、細断くずがカッタに巻き込まれて故障の原因となる場合がありますので、早めの処分を心掛けてください。
- ✕ ダストボックスが細断くずでいっぱいになると、本製品は動作しません。このときゴミいっぱい警告ランプが赤く点灯します。細断中であれば自動的にカッタが止まります。

カッタのお手入れ

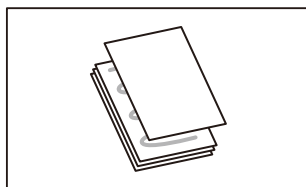
本製品にはシュレッダ専用オイルが試供品として同梱されています。カッタのお手入れは、純正の専用オイルをご使用ください(フェローズシュレッダ専用オイル)。

III コピー用紙を使う方法

- 1 コピー用紙3～4枚を重ねた後、一番上の紙に図のように専用オイルを塗ります。



- 2 オイルを塗った紙の上にもう1枚コピー用紙を重ねます。

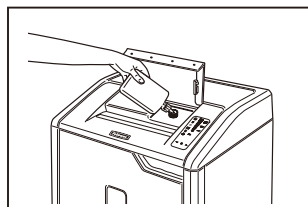


- 3 できあがった紙をそのままシュレッダにかけます。

III オートオイルシステムを使う方法

オートオイルシステムとは、約1,000枚の細断ごとに自動的にオイルが噴出するシステムです。本体のオイルタンクにオイルを入れて使用します。

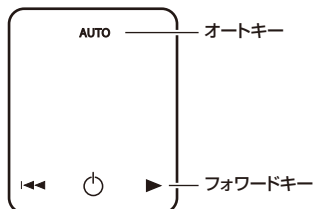
- 1 CDフラップを開けて、オイルタンクのキャップを取り、オイルを入れます。(オイルタンク容量: 355ml)
オイルを入れたらキャップを閉め、CDフラップを閉じてください。



- 2 オイルの噴射テストを行います。コントロールパネルのオートキーと、フォワードキーを3秒間以上同時に押し続けます。

- 3 オイルがカッタに噴射されることを確認します。

 このときノズルも洗浄されます。



■ オイルの抜きかた

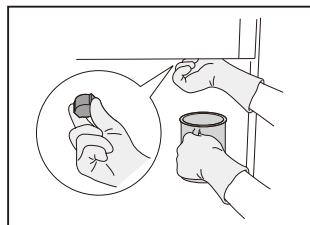
本製品を輸送する際は必ずオイルを抜いてください。

注意 オイルで手が汚れますから、市販のゴム手袋をお使いください。

1 キャビネット内の本体底部にあるオイル排出栓の下に新聞紙などを置きます。排出されたオイルで本製品や床が汚れないようにするためです。

2 オイル排出栓の真下に、オイルを受ける容器を準備します。オイル排出栓を反時計方向に回すと、栓が外れてオイルが排出されます。(オイル排出栓は順ネジです。)

注意 オイルが勢いよく出るときがあります。



3 オイルが排出されたら、オイル排出栓を元どおり取り付けます。

本体外側のお手入れ

1 背面の主電源スイッチをOFFにします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 本体の外側を柔らかい布で乾拭きします。

注意 汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて拭いてください。

警告 エアゾール式の潤滑油及びクリーナー等は絶対に使用しないでください。
マシン内部で引火し爆発や火災の恐れがあります。

警告 カッタの刃には手を触れないよう、充分ご注意ください。

注意 シンナーやベンジンなどの有機溶剤は変色、変形、傷の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

警告 火災や爆発の危険がありますので、絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレツダ機構部に噴霧したり、エアゾールをペーパー投入口から噴霧しないでください。
シュレツダのペーパー投入口、カッタ部、ダストボックス等にスプレーを噴霧した場合、シュレツダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレツダの主電源スイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等が引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。

【使用厳禁のスプレー】

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ・可燃性スプレー式の潤滑剤 | ・可燃性スプレー式の汚れ落とし剤 |
| ・可燃性スプレー式のエアーダスター | ・可燃性スプレー式の静電気除去剤 |
| ・可燃性スプレー式のオイル、グリス、シリコングリス | ・可燃性スプレー式の錆止め、錆び落とし剤 |
| ・可燃性スプレー式の洗剤 | ・その他エアゾール式の可燃性スプレー全て |

こんなときは

本製品が停止したときは(オーバーヒートプロテクション機能)

本製品は、連続使用などで過大な負荷がかかったとき、オーバーヒートによる故障を防ぐためにモーターが停止する、オーバーヒートプロテクションという機能を備えています。

このオーバーヒートプロテクション機能が働き本製品が停止したときは、次の手順で操作してください。

1 背面の主電源スイッチをOFFにします。

2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 60分以上そのまま放置して本体を冷まします。

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

主電源スイッチをONにすれば、再び使用できるようになります。

紙詰まりを起こしたときは

お使いの状況により、ペーパー投入口に紙が詰まり、細断が停止することがあります。このとき、本体の紙詰まり警告ランプが赤く点灯します。

そのときは、次の手順で操作してください。

1 リバースキー(逆回転)を押します。

カッタが逆回転し、詰まった紙を押し出します。

カッタを逆回転させても紙が押し出されないときは、手順2に進んでください。

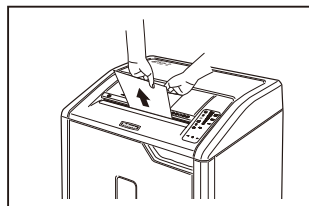


2 フォワードキー(手動正転)を押します。

カッタが通常の方に回転します。再び紙が詰まりそうであれば、フォワードキーから手を離してください。



手順1～2を2、3回繰り返し、紙を取り除きます。詰まった紙を無理に引き抜いたり、何度も操作を繰り返すと、故障の原因となる恐れがありますのでご注意ください。
正回転と逆回転を切り替える際、必ず1秒以上回転を止めてください。



※上記操作でトラブルを解消できない場合は、必ず主電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、コクヨ株式会社 フェローズ製品カスタマー窓口 <https://kokuyo.jp/fellowes-support/> までご連絡ください。

紙が押し戻されたときは

本製品に規定枚数以上の紙が投入されたとき、自動的にカッターが逆回転して紙を押し戻すことがあります。紙がペーパー投入口から押し出されたときは、紙を上から取り除いたあと規定枚数以内に分けて細断してください。

警告ランプが点灯しているときは

		原因	対策	参照ページ
	点灯	オイルタンク内のオイルが少なくなりました。	オイルを補充してください。	14ページ
	赤く点灯	ダストボックスにゴミがいっぱいになりました。	ゴミを処分してください。	13ページ
	点灯	セーフセンスが作動しています。		11ページ
	点灯	細断中の紙が詰まったか、投入口に紙が残っています。	投入口にある紙を取り除いてください。	16ページ
	点灯	キャビネットドアが開いています。	キャビネットドアを閉めてください。	13ページ
	点灯	紙がまっすぐ入れられていません。	紙をまっすぐ入れなおしてください。	9ページ

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	参照ページ
動作しない	電源プラグはコンセントに正しく差し込まれていますか？	8ページ
	背面の主電源スイッチはONになっていますか？	9、10ページ
	コントロールパネルのスタンバイのランプ(青)が点灯していますか？	9、10ページ
	ペーパー投入口やCD／カード投入口の中央に入れていますか？	9、10ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	12、16ページ
	省エネモードになっていませんか？	9ページ
	オフモードになっていませんか？	11ページ
細断が止まる・ 細断できない	紙を入れすぎていませんか？	8、12ページ
	投入口の幅より広い紙を入れようとしていませんか？	9、12ページ
	紙が斜めになっていませんか？	9、12ページ
	紙詰まりが起きていませんか？	16ページ

これらの確認をしても問題が解決しないときは、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた上で、コクヨ株式会社 フェローズ製品カスタマー窓口 <https://kokuyo.jp/fellowes-support/> までご連絡ください。

製品仕様

品名	425Ci-2	485Ci-2
外形寸法	W560×D510×H950mm	W635×D510×H950mm
質量	67kg	81kg
電源	AC100V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200W	1200W
定格電流	12A	12A
定格使用時間	連続	連続
投入幅	305mm(A3)	407mm(B3)
細断サイズ	3.9×30mmクロスカット	3.9×30mmクロスカット
最大細断枚数 ^{*1}	32枚(A4コピー用紙64g/㎡)	32枚(A4コピー用紙64g/㎡)
定格細断枚数 ^{*2}	30枚(A4コピー用紙64g/㎡)	30枚(A4コピー用紙64g/㎡)
細断速度	4.4m/分	4.4m/分
コードの長さ	1.5m	1.5m
ダストボックス容量	114ℓ	132ℓ

*1 10回連続して同時に細断できる枚数(90%以上の細断率)

*2 定格使用時間内において連続して同時に細断できる枚数(90%以上の細断率)